

第 章 附属学校における安全管理チェックリスト及び緊急時フローチャート

学校安全のための具体的対応等を実践的ガイド冊子としてまとめることが効果的であると考え、「危機管理マニュアル」を策定した。

その際、危機管理マニュアルの対応レベルに段階性を配慮し、「日常時の危機管理マニュアル（不審者対応）」と「緊急時の危機管理マニュアル（不審者対応）」の2つのバージョンを設定することとした。

1 防犯に関する安全管理チェックリスト

学校安全は、昭和40年代の学校管理下の事故災害と交通事故が中心であった時代から現在では大きく変遷して、新しい多くの危険が児童生徒等を取り巻いている。中でも附属池田小事件は、学校安全を確保するために従来の安全管理の理念を根本的に覆す事件であった。

この種の事件は、いつ、どここの学校で発生するかもしれないので、その危機意識を常に保持して防止対策を指向しなければならないことを示唆している。特に、今後の安全管理としては、各学校に適した防犯に関するマニュアル作りと、そのマニュアルによる教職員の継続的な研修が不可欠である。また、マニュアルによる研修後には、常にマニュアルのチェックを実施して修正を行い、各学校に適したマニュアルを作成しておく必要がある。その意味で、第 章の各節での評価が不可欠であり、本報告では、附属池田小事件をもとに、防犯に関するチェックリストの作成を試みた。なお、「(5)発生時における対応」においては、フローチャートを作成したので、併せて活用し安全管理の充実を図っていくことが強く望まれる。

日常時のチェックリスト

- (1) 学校における安全管理
- (2) 防犯訓練
- (3) 地域等との連携体制
- (4) 大学の対応

緊急時のチェックリスト

- (5) 発生時における対応
- (6) 事後の対応

第 章

(1) 学校における安全管理

チェック項目	
1	不審者対応マニュアル(以下「マニュアル」)を学校独自に定めているか
2	マニュアルには事前対策, 緊急時対策, 事後対策が盛り込まれているか
3	マニュアルに職員の役割も決めてあるか
4	校内でマニュアルの理解を図るための研修会等を年度始めに実施しているか
5	不審者の侵入を想定して, 学校の出入口その他の門以外に, 不審者が侵入しやすいところがないかどうかを点検し, 必要な対策を講じているか
6	不審者の侵入防止のための体制について, 始業前, 授業中, 休憩時間, 昼の休憩時間, 放課後, 行事日, 土曜・日曜・祝日等の休業日及び夏・冬・春季の各長期休業等, 様々な場合を想定しているか
7	登下校時には, 子どもの使用する門には必ず教職員や保護者が立ち校門指導をするなどの安全管理体制をとっているか
8	不審者の侵入を未然に防止するため, 校内への出入口を1か所に限定しているか(登下校時以外)
9	校内への出入口に人員を配置しているか
10	校内への出入口にインターホン等を整備しているか
11	校内への出入口は常に施錠して管理しているか
12	校内への出入口に受付等へのわかりやすい案内板を設置しているか
13	来校者には必ず受付をしてもらっているか
14	来校者には受付済みであることがはっきり分かる入校証等を身につけてもらっているか
15	監視上の安全管理のため, 樹木等の剪定を行っているか
16	教職員が, 来校者に必ず挨拶や声かけをしているか
17	意識的組織的な校内巡回を実施しているか
18	不審者侵入防止のための学校の体制を保護者に周知し, 理解を得るための機会を設けているか
19	不審者侵入防止のための学校の体制を地域の人びとに周知し, 理解を得るための機会を設けているか
20	学校の取組みに対し, 保護者や地域の人びと, 関係機関が意見を表明する機会があるか
21	保護者や地域の人びとが学校行事や防犯活動に参加する際, 傷害保険等を用意しているか
	多数の外部者が来校する学校行事等の場合に, 保護者等に受付や校内巡回等を依頼し

22	ているか
23	多数の外部者が来校する学校行事等に際して、立入禁止区域の指導等も含め、子どもに事前の安全指導をしているか
24	保護者等に巡回の協力を依頼する際、万一の場合の対応を、簡単なマニュアル等により説明しているか
25	校内巡回に際し、防犯ブザーや笛等を携帯しているか
26	学校開放時に開放・非開放区を明確にし、非開放区には侵入防止の手だてを講じているか
27	通学路の安全確保のため、保護者、地域の人びと、交通機関、警察等関係機関に協力を依頼しているか
28	通学路の危険箇所を点検しているか
29	通学路等で万一の事態が生じた際、どのように対処するかについて子どもに指導しているか
30	通学路等で万一の事態が生じた際、学校に速やかに連絡が入るよう地域の人びとや保護者に協力を依頼しているか
31	校外での活動に際し、十分に実地踏査を実施しているか
32	校外での活動に際し、警察や救急医療機関等の場所を把握しているか
33	校外での活動時に万一の事態が生じた場合の緊急連絡体制を整えているか
34	校外での活動に際し、子どもに事前の安全指導を行っているか
35	土曜・日曜・祝日等の休業日における子どもの安全確保の方策を別途検討しているか
36	夏・冬・春季の長期休業中における子どもの安全確保体制を別途検討しているか
37	近隣に不審者があった場合、その情報が速やかに学校にもたらされるよう、保護者、地域の人びと、関係機関、近隣の学校等と連携しているか また教職員や子どもに指導しているか
38	近隣に不審者の情報があった場合、子どもの安全確保策、保護者への緊急連絡、登下校時の対応等について定めているか
39	犯行予告や脅迫電話があった際の子どもの安全確保策について定めているか
40	学校安全管理委員会(仮称)を定期的を開催しているか

第 章

(2) 防犯訓練

チ ャ ッ ク 項 目	
1	教員の社会人としての意識高揚目的で研修等を行っているか
2	設定場所を変えて防犯訓練を行っているか
3	時間帯を変えて防犯訓練を行っているか
4	学校行事中を想定した防犯訓練を行っているか
5	管理職不在を想定した防犯訓練を行っているか
6	119, 110 番への実際の通報を防犯訓練の中で行っているか
7	大声を出しての通報を防犯訓練の中で行っているか
8	子どもの名簿を常時複数備え, 所定の場所に確実に収納・保管しているか
9	負傷者が出た場合の防犯訓練を行っているか
10	全教職員は大出血の応急手当の訓練を行っているか
11	全教職員は心肺蘇生法の訓練を行っているか
12	負傷者発生を想定して, 搬送を防犯訓練の中で行っているか
13	負傷者が病院に搬送され, 付添いも想定した防犯訓練を行っているか
14	全教職員(警備員を含む)が防犯訓練に参加しているか
15	隣接附属学校の教職員の役割もマニュアルに入れているか
16	防犯訓練の際, 責任者の所在場所を固定しているか
17	避難誘導する際に, 他クラスへの避難等の指示を防犯訓練の中で行っているか
18	避難誘導の際に複数クラスで, 先頭, 最後尾に教職員がつくようにしているか
19	避難訓練における不審者への対応は複数で行っているか
20	附属学校の管理職研修を公立並みに行っているか
21	教員養成系大学・学部で, 安全教育をカリキュラムの中に取り入れているか

2 2	教育実習生を受け入れている期間中に防犯訓練を行っているか
2 3	非常時の緊急連絡網を作っているか
2 4	緊急連絡網を使つての連絡を，防犯訓練の中で行っているか

第 章

(3) 地域等との連携体制

チェック項目	
1	学校の危機管理体制にPTAが参加しているか
2	学校はPTAと協力して、保護者へ防犯に関する啓発活動を行っているか
3	PTA・保護者が校内や通学路の安全点検に協力しているか
4	PTAは、学校での事件・事故に備えて、PTA救急班を立ち上げているか
5	保護者への緊急連絡網が整備されているか
6	PTAは避難訓練へ協力しているか
7	管理職は就任時に自治会長等に挨拶に出向しているか
8	新年度、学期始め等に自治会長等に年間学校行事の説明をしているか
9	多数の来校者がある場合（運動会、研究会等）、自治会長へ事前連絡を行っているか
10	地元自治会や人びとに対して、児童生徒等の安全確保や不審者情報提供への協力を依頼しているか
11	附属学校周辺の地域の人びとを学校行事に招くなど、日頃から地域の人びとと交流を深める工夫をしているか
12	附属学校周辺の地域の人びとに「こども110番の家」等に協力を依頼しているか
13	地元の人びとと学校との交流に、PTA・保護者が参加しているか
14	通学路など学校周辺での安全点検に地域ボランティアが参加しているか
15	不審者情報や事件の発生に備え、地元教育委員会との緊急連絡体制ができているか
16	隣接附属学校と合同で、合同学校安全連絡会を立ち上げているか
17	不審者侵入事件に備え、隣接附属学校との連絡体制、協力体制が確立されているか
18	隣接附属学校と合同で避難訓練を行っているか
19	管理職は就任時に警察署等に挨拶に出向しているか
20	新年度、学期始め等に警察署等に年間学校行事の説明をしているか
21	多数の来校者がある場合（運動会、研究会等）、警察署等へ事前連絡を行っているか

2 2	不審者情報や事件の発生に備え、警察・消防との緊急連絡体制が整っているか
2 3	警察・消防の協力を得た避難訓練や防犯の研修会が開かれているか
2 4	通学路の鉄道・バス会社に児童生徒等の安全確保について協力を得ているか

第 章

(4) 大学の対応

チェック項目	
緊急時	1 附属学校からの連絡で、即助言・指導等と与えられる体制ができているか
	2 附属学校からのすべての連絡窓口は一本化されているか
	3 勤務時間外でも、附属学校からの連絡窓口は確保されているか
	4 当該校への必要な支援スタッフ(メンタルサポートチームを含む)を即派遣できる体制が整っているか
	5 当該附属学校の地元教育委員会、他の学校への連絡網はできているか
日常時	6 大学として、附属学校の安全管理の指導・助言を行っているか
	7 学校安全の情報収集・整理及び附属学校へのそれらの提供を行っているか
	8 必要に応じて附属学校への警備員等の人的配置を行っているか
	9 通達・通知等が附属学校で十分理解されているかを確認しているか
	10 附属学校管理職員に管理職としての研修を大学として実施・指導しているか
	11 校長が附属学校の管理職として機能しているかをチェックしているか
	12 附属学校の教職員の安全管理に関する研修を定期的実施しているか
	13 附属学校の安全管理点検項目を作り、定期的にチェック・助言をしているか
	14 大学として、附属学校の所在地警察・消防署・自治会等と定期的に連携する会をもっているか
	15 附属学校からの報告・要望等が即、大学関係者に届いているか
	16 附属学校在学の子どもの通学路等の安全に関して、警察等と連携しているか
	17 即座に行動できる心のケアの体制を大学で組織しているか
	18 大学の教職員も訓練等を行っているか
	19 大学教職員も名札着用や声かけを行っているか
	20 教育実習中に訓練等を行っているかをチェックしているか
	21 大学の施設部門は附属学校のハード面における安全面を定期点検しているか
教員免許取得希望者に対し、安全管理に関する内容を必ず受講するような体制をと	

22	っているか
23	学校危機管理の専門家を大学に配置しているか
24	大学は学生を含めて防犯訓練等をしているか
25	通知文が校長・副校長に確実に伝わっているか

第 章

(5) 発生時における対応

チェック項目	
初期 対応	1 発見者の侵入者初期対応(侵入防止,退去等)はできたか
	2 侵入者の児童生徒等への接近を防止できたか
	3 発見者の初期報告はできたか
	4 侵入者の状況把握はできたか
	5 負傷者の有無は把握できたか
	6 負傷者の状況把握確認(出血,意識,呼吸等)はできたか
緊急 通報 ・ 連絡	7 警察への緊急出動要請はできたか
	8 救急車出動要請はできたか
	9 校長等管理職へ緊急連絡及び報告はできたか
	10 隣接附属学校,大学等への緊急連絡はできたか
緊急 対策 対 策 制	11 事故発生状況の把握はできたか
	12 全教職員への情報伝達はできたか
	13 初期報告後の緊急危機対応体制の確立はできたか
	14 連絡体制の確立はできたか
	15 避難場所及び避難路の確保はできたか
	16 避難誘導等の指示はできたか
	17 児童生徒等への注意喚起はできたか
	18 情報の収集はできたか
	19 情報の集約・記録はできたか
	20 情報を全教職員で共有できる措置を行ったか(ホワイトボード設置等)
	21 二次被害への対策はとれたか

	2 2	教職員の緊急活動での役割は果たせていたか
	2 3	報道機関への対応窓口は一本化できたか
救急 救護 体制	2 4	救急活動に関する緊急連絡体制の確立はできたか
	2 5	救急活動での状況報告及び連絡体制の確立はできたか
	2 6	負傷者の状況把握はできたか
	2 7	学校医への連絡及び助言協力要請はできたか
	2 8	負傷者への応急手当等はできたか
	2 9	救急車等への教職員付添搬送はできたか
	3 0	負傷者に関する記録(負傷者の氏名, 搬送先等)はできたか
	3 1	医療機関への付添者からの状況報告はできたか
	3 2	児童生徒等の保護者への引渡体制は確立できたか
	連絡 報告 体制	3 3
3 4		校内の救急活動での連絡体制の確立はできたか
3 5		保護者への連絡体制の確立はできたか
3 6		保護者への連絡はできたか
そ の 他	3 7	安全管理に関するマニュアル等は機能したか
	3 8	緊急対応方針の決定はできたか
	3 9	状況全体の記録はできたか

第 章

(6) 事後の対応

学校の安全管理を徹底するために、学校の管理責任者である校長・教頭は危機への備えとして、常時自校の危機管理体制を点検し評価する重大な責務を担っている。

危機管理体制の点検評価は、危機予防の事前対応の時点と危機発生時の緊急対応と危機発生後の事後対応のそれぞれの時点において実施することが望まれる。

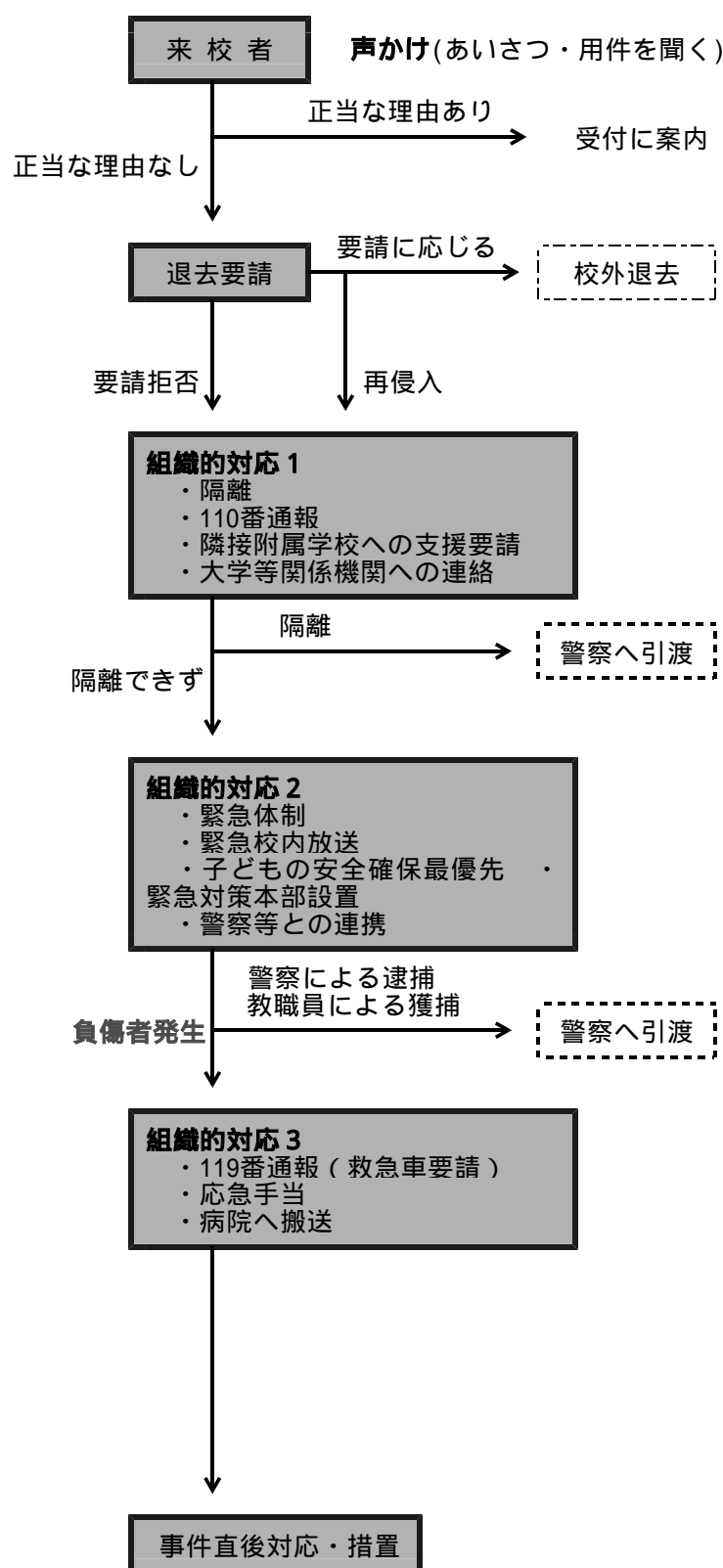
ここでは、事件発生後における危機管理体制の点検評価の具体的項目を、管理職用「学校危機事後対応チェックリスト」としてまとめて提示する。

管理職用「学校危機事後対応チェックリスト」

チェック項目	
1	危機発生と同時に全教職員へ緊急連絡し、即時に各自の役割を指示し指揮をとったか
2	隣接附属学校及び大学や警察、消防、医療機関等や自治体へ即時に危機を通報し、支援を要請したか
3	児童生徒等へ緊急に危機を知らせ、安全の確保に努め安否を確認したか
4	保護者へ緊急に危機を知らせ協力を要請したか
5	被害者(被災者)への応急手当や医療機関への搬送等の連携が迅速かつ適切になされたか
6	負傷者、その負傷の程度及び治療を受けている専門機関等、被害者(被災者)の全貌を早急に把握し、それぞれの保護者との連携を迅速かつ適切に行ったか
7	全児童生徒等の恐怖と不安を受け止め、興奮を静め、落ち着かせたか
8	危機発生の原因が判明し、その原因を一時的に隔離ないし排除し、危機事態は一応落ち着いたか
9	教職員の安否と健康状態を気遣いチェックしたか
10	児童生徒等を安全に帰宅させ、無事帰宅したことを確認したか
11	児童生徒等を帰宅させた後に職員会議を開いたか
12	職員会議において、危機の全貌について自由に話し合い、教職員の感情表出を促し、それを受け止め興奮を静め、冷静な判断のもとに行動するよう理解を求めたか
13	危機への事後対応として、今後の教職員各自の役割について、再検討し確認が行われたか
14	翌日以降の授業について、教職員と保護者の共通理解のもとに、各家庭へ緊急連絡したか
15	教職員と警察、消防、医療機関等の判断のもとに、危機が一応治まったことを宣言したか
16	危機が一応治まった段階で、隣接附属学校及び大学へ危機への対応の経過を報告し、今後の対応への支援と指示を再度要請したか
17	報道機関に対し、誤報が生じないように細心の注意を払って適切に対応したか

18	教職員と児童生徒等, その保護者の三者間の共通理解のもとに, 二次被害(災害)を防止するための適切な対応がなされたか
19	被害者(被災者)の精神的・身体的健康の回復への中・長期的なケアの在り方を検討し, 見通しを立てたか
20	危機対応の経過を全体的に点検評価し, 学校の今後の安全教育への積極的活用を検討したか

2 緊急時における安全管理（不審者対応）フローチャート



声かけ
用件聞き
受付への案内

退去要請
退去・安全確認

管理職等への緊急連絡
暴力行為制御と退去の説得
110番通報
隣接附属学校への支援要請
不審者の子どもからの隔離
緊急防犯体制及び指示
大学への連絡

被害等安全確認
不審者の荷物等観察監視

全教職員への通報
緊急対策本部の設置
全校生の掌握
避難誘導
人員点呼
負傷者の有無確認
(子どもの安全確認)

警察との連携
凶器所持等の有無の確認

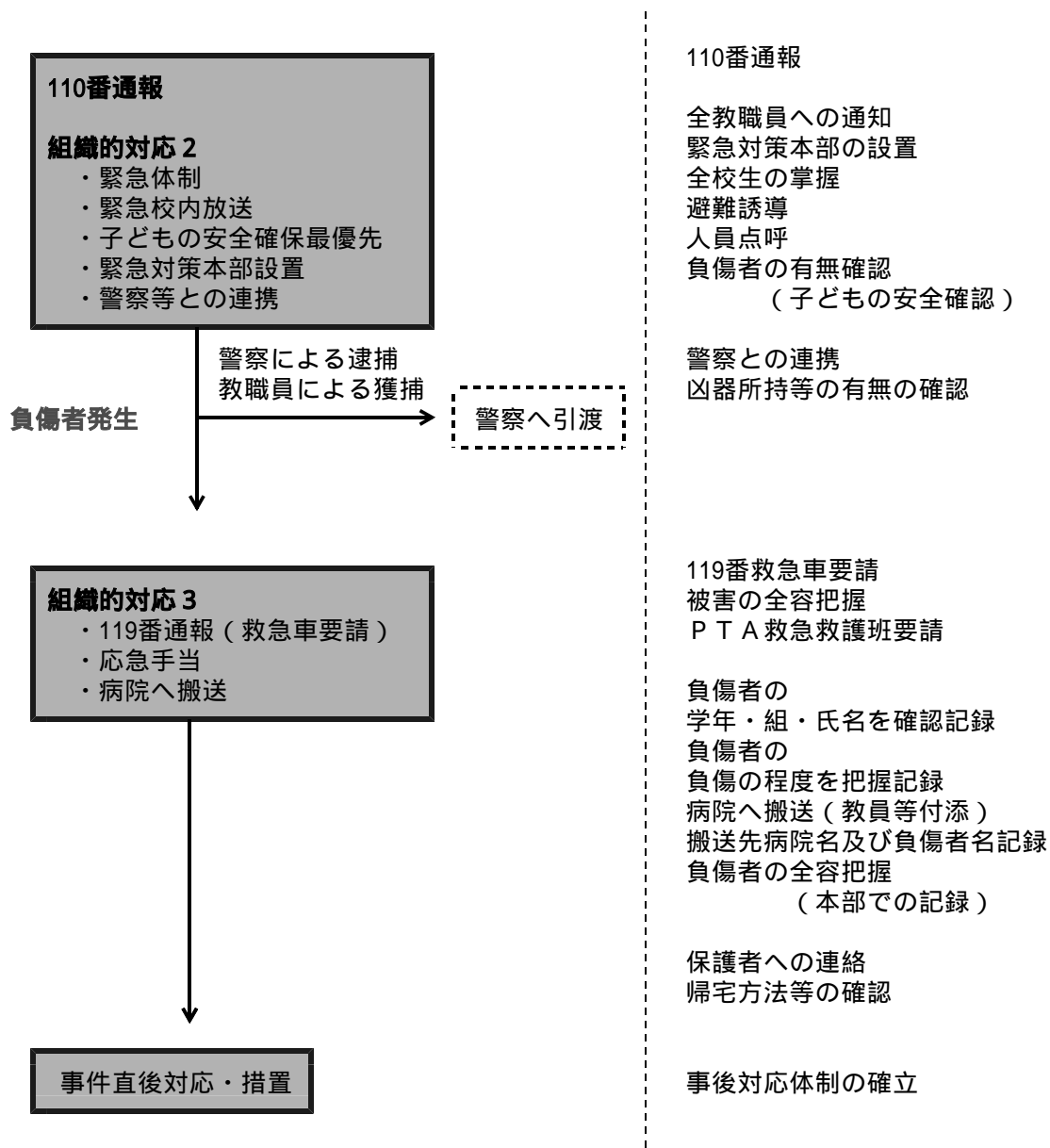
119番救急車要請
被害の全容把握
P T A 救急救護班要請

負傷者の
学年・組・氏名を確認記録
負傷者の
負傷の程度を把握記録
病院へ搬送（教員等付添）
搬送先病院名及び負傷者名記録
負傷者の全容把握
(本部での記録)

保護者への連絡
帰宅方法等の確認

事後対応体制の確立

明らかに不審者である場合



第 章

* 負傷者チェックカード

児童生徒等氏名：	性別：男・女	年 組
負傷の程度：		
搬送救急車（救急隊員氏名）：		
救急車同乗者氏名（負傷者との関係等）：		
搬送時刻： 時 分		
搬送先医療機関（到着時刻）： (時 分着)		
保護者への連絡（連絡者）： 電話		
搬送先医療機関への保護者の到着確認： 時 分		
学校名：		
電話番号： F A X 番号：		

F A X 番号は裏面にも印刷しておく。

負傷者チェックカードは複写式とする。

1 枚は学校控，もう 1 枚は付添者が所持する。

緊急時は，カードを救急隊員に渡す。